あげしお

令和８年 10月 1日
鷹南学園三鷹市立第五中学校
校長　櫻井　勉
第６号

「あげしお」～物事の勢いが盛んになることを意味し、生徒が勢いよく活躍するという思いを込めて～

◇学校教育目標◇
・進んで考える人
・情操豊かな人
・心身ともに健康な人

「共に生きる力」とは？

校長　櫻井　勉

ある中学校で 2 年生の学年主任を務めていた頃のことです。班ごとに立てた計画に沿って東京都内を巡る「校外学習」を実施しました。どの班も大きなトラブルなく行動でき、ほぼ予定通りに行程を終えることができました。翌年度の修学旅行につながる貴重な経験となり、生徒たちにとっても思い出深く、自信を深める行事になったはずでした。

ところが、事後のアンケートで、ある班の生徒2名が携帯型ゲーム機を持参し、往復の電車内などで遊んでいたことが発覚しました。もちろん事前に、生徒実行委員会が中心となり「不要物は絶対に持ち込まない」「集団として信頼される行動をしよう」と、ルールやマナーについて繰り返し確認していました。しかし、その呼びかけは二人の行動を止めることはできませんでした。

後日、二人と話をする中で、「先生たちに見つからなければ大丈夫だと思った」「ルールを破るのが、少しかっこいいことのように感じていた」といった本音を聞くことができました。さらに私が「そのときのゲームを楽しく感じたのか」と尋ねると、二人は口をそろえてこう答えました。

「実は、あまり楽しくなかったです」

その言葉を聞いたとき、私はこれが生徒たちにとって大切な学びのチャンスになると感じました。

まずは、行動を振り返る視点を「自分」ではなく、「班長やその他の班員」に切り替えるよう促しました。

数か月前から見学地や交通経路などを調べて計画を作り、安全で楽しい校外学習にしようとがんばってきた班長やコース係、会計係などの班員たち。計画通りにいくかちょっとドキドキしながら、ワクワクした気持ちで出発を迎えたはずです。そんなとき、横にいた班員がバッグからゲーム機を取り出して遊び始めるという思いもしなかった光景が目に飛び込んできたとしたら、どんな気持ちになるでしょうか。「怒り」や「不満」しか思い浮かばなかったとしたら、想像力が足りません。

「どうしよう。注意したほうがいいのだろうか。でもそれで班の雰囲気が悪くなったら嫌だし…」

「このことを先生に報告すべきだろうか、それとも黙っていた方がいいのだろうか…」

責任感のある人たちは行動中、ずっとこのような考えにとらわれ続けるかもしれません。本来ならキラキラとした楽しい思い出になるはずだった時間が、モノクロの画像のように、暗くて重たい一日へと変わってしまうかもしれません。



彼らに足りなかったのは、ルールを守るという「規範意識」ではなく、自分の行動によって相手の心がどのように揺さぶられるのか、という「想像力」です。

「自分たちだけの楽しみ」と思ってすることが、どこかで誰かを傷つけるかもしれないと推測できる力があったなら、バッグからゲーム機を取り出すことはできなかったでしょう。

私が伝えたかったことは、この二人はもちろん、学年のすべての生徒とも共有することができました。もし、この出来事がなかったら、「不要物はルールだからダメ」「見つかるか、見つからないかの問題」「罰を与えればいい」といった表面的な理解にとどまり、深く考えるチャンスは得られなかったかもしれません。

しかし、生徒たちは一歩踏み込んで、「自分の行動は仲間たちの心にどんな影響を与えるのか」という視点から考えることができるようになりました。

その後の旅行行事では、「自分の楽しさ」だけでなく「みんなの楽しさ」を大切にしようという雰囲気が広がり、自然にルールが守られるようになりました。そして、学年全体の一体感も、大きく高まっていきました。

修学旅行を終えたある生徒の感想文が、今でも心に残っています。

「携帯電話やゲームなんかなくったって、大好きな仲間たちと一緒に過ごしているだけで、最高に楽しかった！」

きっかけは失敗であっても、そこから育まれる「共に生きる力」は確かにある、そう思えた経験でした。

💎長い2学期が始まりました。上手く自分のペースを作り、焦らずに一歩一歩、前に進んでいきましょう💎



生徒会役員選挙(9/1)

今年度も2学期に入ってすぐ、後期生徒会の新役員選挙が行われました。立候補者は、朝学活の前の教室やお昼の放送を使い、遊説活動を行いました。

今回の選挙では、書記と会長と 2 年副会長については信任投票、1学年副会長のみが1枠を 4 名が争う形となりました。体育館での「立ち合い演説会」では、応援演説者と立候補者がスピーチを行い、教室での投票後に選挙管理委員が開票作業を行い、新役員が決定しました。

2年生が中心となった生徒会活動がいよいよ本格的に始まります。



秋季考査(9/10・11)

夏休み明け、2週間を過ぎた頃に定期(秋季)考査が行われました。

1学期学んだことを、夏休みの間にどのくらい復習することができたのかが問われたテストだったのではないでしょうか。

長い2学期が始まりました。日々の授業を大切にし、自分なりに計画的に学習を進め、補習教室などにも積極的に参加するなどして、一歩一歩力をつけていきましょう。

テスト結果については、振り返りをしっかりと行いましょう。長い目で見て成長していけるよう、焦らず一歩ずつ歩んでいきましょう。



学園公開(9/26)

多くの保護者及び地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。アンケートには「わが子が楽しそうに授業を受けている様子を見て安心しました。丁寧なご指導に感謝します。」「印象的だったのは、皆協力しながら授業を受けていたことです。」「合唱の練習でしたが、先生から一方的に指導するばかりでなく、生徒たちに感想や評価を発表させることで考えさせて自発的な行動を促しているのが印象的でした。」など、教職員として励みとなるご意見をいただきました。

10月の主な予定

1(木)　⑥カット　一斉委員会(後期初回)
2(金)　学園挨拶運動終
5(月)　後期時間割始　生徒会朝礼(認証式)
　　合唱コンクール特別時間割始
6(火)　安全指導
7(水)　⑤カット　鷹教研
8(木)　放)合唱コンクール実行委員会
11(日)　3学年修学旅行出発
13(火)　3学年修学旅行帰着
14(水)　3学年振替休業日
15(木)　3学年卒業アルバムクラス写真撮影
16(金)　合唱コンクールリハーサル
19(月)
20(火)　1学年修学旅行業者プレゼン
21(水)　職員会議
22(木)　前日準備
23(金)　合唱コンクール
　　(於:三鷹市公会堂　光のホール)
26(月)　3学年⑤⑥カット進路会議
27(火)　2学年マナー講習⑥
　　2・3学年復習確認テスト①～⑤
28(水)　3学年三者面談始
　　保護者と教員の懇談会(15 時～)
29(木)　2学年防災授業⑤⑥
30(金)　1学年狂言教室③④

【敬老のつどい/ボランティア】9/19



「敬老のつどい」が三鷹市公会堂で開催されました。五中生 14名の生徒が、会場へ案内する「誘導係」と抹茶と和菓子を運ぶ「湯茶接待係」の2つに分かれてボランティアとして参加しました。

【理科室授業における避難訓練】9/14



通常教室ではなく、理科室での授業時に災害が起きたことを想定して、3年生が避難訓練を行いました。その際、非常階段が危険なため、CS 委員会に協力していただき、保護者や地域の方々による「見守り」をしていただきました。

なお、生徒全員が体験できるように、学年ごとに、9月25日には1年生が実施しました。2年生は雨天中止。

五中生の活躍 (表彰者)　※敬称略

◇バドミントン
全日本ジュニアバドミントン選手権大会
・新人女子シングルス　ベスト16　臧佳純
三鷹市ジュニアバドミントン大会女子ダブルス
・優勝　窪田十和子・栗須優衣ペア　他3位2組
新人男子シングルス
・C ブロック優勝　堀和成　他準優勝1名、3位2名
新人女子シングルス
・A ブロック優勝　福島梨子
・C ブロック優勝　野竹紗弥
・D ブロック優勝　星野葵　他準優勝1名
男子シングルス　3位2名

◇テニス
東京都中学校テニス
選手権大会出場
・女子シングルス
地区代表選手に認定
納野　佳奈子

◇剣道
三鷹市スポーツ協会
・中学生男子の部　準優勝
・中学生団体の部　三位
　池亀　温貴